



日本共産党名古屋市議員
柴田民雄

昭和区

市政ニュース

No. 194 [2019/01/20 発行]



いつでもご相談を



柴田民雄事務所 〒466-0849 昭和区南分町 3-3
御器所駅・川名駅から徒歩 11 分 (事務所の駐車場はありませんが東隣に名鉄協商コインパーキングがあります)

発行 日本共産党名古屋市議員団
〒460-8508 名古屋市中区三の丸 3-1-1 名古屋市役所東庁舎 3F Tel 052-972-2071
連絡先 名古屋市議員柴田民雄事務所 Tel052-858-3255 Fax 052-858-3256
tamio.jcpweb.net / shibata@tamio.jcpweb.net / @shibata_pin / www.facebook.com/tamio.shibata
メールマガジンに登録を右のQRコードで表示される mtouroku@tamio.jcpweb.net に空メールを送信するだけ!

無料法律相談のご案内

協力弁護士と初回無料で法律相談ができます【予約制・30分】

- 第2金曜日：午後2時～4時
 - 緊急の場合などご相談下さい
- 2月8日(金)午後2時～4時
3月8日(金)午後2時～4時

予約TEL:
052-
858-
3255

敬老パス利用制限導入ゆるすな! 財政福祉委員会で所管事務調査

昨年12月28日(金)に開かれた市議会財政福祉委員会で、敬老パス制度について所管事務調査が行われ、市が10月に行った「敬老パスの利用状況に関する市民アンケート」の結果

について議論が交わされました。

アンケート調査は、対象交通の拡大を含め、新たな敬老パスの制度構築を検討するために、市民意見を集約する目的で行われました。主な質問は個人ごとの利用回数や利用金額に差があることについてどう思う

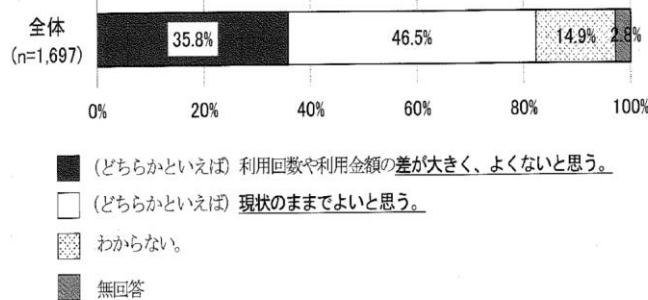
か?というもので、回答は「現状のままでよいと思う」が46%で、「差が大きく良くないと思う」の35%を大きく上回りました。

柴田議員は、改めてこのアンケートが、ごく一部に利用回数・金額が多い人がいることをことさら紹介し、税金が使われているという

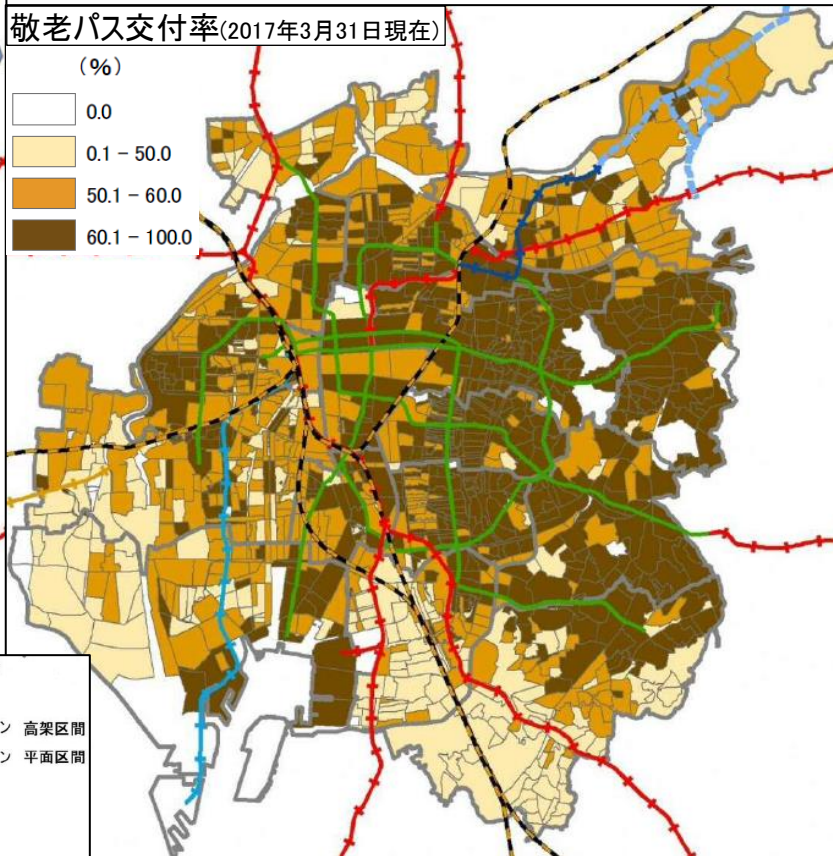
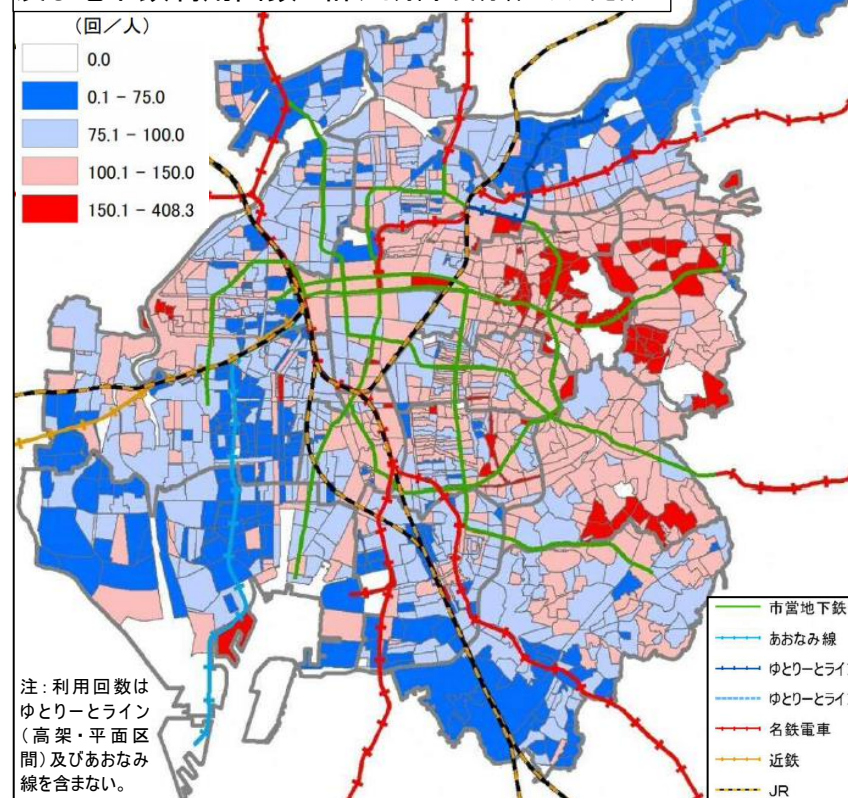
主なアンケート結果

個人ごとの利用回数や利用金額に差があることをどう思うか

- ・「現状のままでよいと思う」と回答した人が約5割
- ・「差が大きく、良くないと思う」と回答した人が3割超



ICカードの乗車実績データに基づく敬老パスの利用状況等分析調査報告書(2018年7月)より「市バス及び地下鉄利用回数の計(6カ月間・交付者一人当たり)」



言い回しをするなど、利用回数や金額換算した利用額に差があることが「よくない」から、何らかの利用上限を設ける方向に回答を誘導するものになって

いることを指摘し、しかし市民は、そのような誘導的なアンケートであっても、誘導されず、半数が「現状のままでよいと思う」と回答していることから、市民は利用制限は求めているという結果であったこと、そして、地下鉄沿線以外の方がより多く「よくない」と回答していることから、格差是正は私鉄への利用拡大が急務であると意見を述べました。

利用制限ねらう自民

委員会の議論の中で、敬老パスの名鉄・JRなどへの拡大の事業費9億円を利用制限で捻出するには、年間の

利用限度額は18～20万円となり、約4%が該当するとの推定が示されました。

9億円の事業費をめぐり、自民党議員は「敬老パスの名鉄やJRへの拡大に必要な財源約9億円を捻出するため利用制限が必要」との発言がありました。敬老パス予算の「暫定上限」142億円を絶対視し、市民に負担を求めるものです。

利用制限は敬老パス制度の趣旨を損なう

これに対し、柴田議員は、「利用制限を加えると利用を控える圧力となり、健康増進効果も経済効果、社会参

加効果も縮小させる」と述べ、敬老パスの趣旨を損ねる利用制限に強く反対しました。

142億円の「暫定上限」に根拠なし

自民党議員は、142億円の「暫定上限」に固執していますが、もともと「暫定上限」は、条例にも、市議会の議決にもない「内部規律」であり、敬老パスの予算は市予算全体の問題です。

名鉄・JRなどへの拡大のために必要な事業費9億円は、一般会計予算1.2兆円の0.001%にも満たない金額であり、財源は金持ち減税の中止などで十分捻出できます。

新たな利用制限を行わず、JR・私鉄に拡大を

共産党名古屋市議団は、新たな利用制限を行わず、JR・私鉄への対象拡大を求めています。

そのために必要なことは何かを解説したパンフレット「市民の宝敬老パス～JR・私鉄でも使いたい」を発行しました。ご希望の方には、無料配布します。希望部数をお知らせください。



消防出初式を観覧

1月13日、名古屋港ガーデンふ頭で名古屋市消防出初式が行われ、柴田議員が観覧しました。

出場人員は、消防職員561人、消防団員1,299人、市民防災組織112人の計1,972人。消防車両79両、消防艇3艇、航空機3機、消防団可搬式ポンプ16台を使って訓練が行われました。

毎年冒頭に、詩吟「消防精神」を吟じられている一人が昭和区伊勝学区消防団長の大矢さんです。(写真左側)



今年で消防団を定年退団されるため、この詩吟も歌いおさめとのこと。18歳で消防団に入り、75歳の定年まで57年務めあげられたとのこと。レジェンドとも言える消防団員の皆さんに市民の安全が支えられていることに、心から感謝します。

出初式には多くの市民が家族連れなどで観覧に訪れ、ポッカレモン消防音楽隊の演奏や、リリーエンゼルの演技、消防ヘリの展示飛行や、各区消防団の分列行進、放水訓練などに拍手喝さいを送っていました。

Instagram「フォトコンテスト」など消防団を身近に感じてもらう工夫もされていました。



街頭宣伝などの予定 (雨天中止)			
朝宣伝		夕方宣伝	
1/21(月) 8:00～	八事日赤駅 (いっせい宣伝)	--	--
1/22(火) 8:00～	いりなか駅	1/25(金) 18:30～	荒畑駅
1/29(火) 8:00～	桜山駅	2/1(金) 18:30～	鶴舞駅
2/5(火) 8:30～	八事日赤駅	2/8(金) 18:30～	いりなか駅

市議員柴田民雄 活動日誌

- 8(火): 定例朝宣伝[荒畑駅]
- 9(水): 年金者組合と懇談
- 10(木): 来年度予算財政局査定説明会, 市職労健康福祉局衛生支部旗びらき
- 11(金): 夕方宣伝[川名駅], 滝子寄席実行委員会
- 12(土): ナナちゃん人形前演説会
- 13(日): 消防出初式[ガーデンふ頭], 昭和区後援会新春のつどい
- 14(月): 成人の日記念式

(コラム「上を向いて歩こう」はお休みします。)